



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝田 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営基盤グループ・CSR担当 (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	156,792	1.6	556	△24.7	709	△15.1	455	△14.0
2019年3月期第2四半期	154,379	0.6	738	△1.0	835	52.5	529	328.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △264百万円 (-%) 2019年3月期第2四半期 918百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	81.99	-
2019年3月期第2四半期	95.33	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	79,527	21,093	26.5	3,800.03
2019年3月期	78,657	21,692	27.6	3,907.66

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 21,093百万円 2019年3月期 21,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	60.00	60.00
2020年3月期	-	0.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	1.5	2,600	10.0	2,700	7.8	1,800	11.3	324.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	5,562,292株	2019年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	11,359株	2019年3月期	11,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	5,551,141株	2019年3月期2Q	5,551,658株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復には、中国経済減速の影響等により輸出や生産の一部に弱い動きがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、個人消費、設備投資は総じて堅調であり、全体として緩やかな回復基調にありました。また、消費者心理は、先行き不透明感から日用品購買を中心に節約志向が依然として続いています。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物及び国内水産物とも一部高騰魚種については調整局面にありましたが、総じて調達コストは高い水準を継続しており、加えて業種・業態の垣根を越えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は156,792百万円（前年同四半期比101.6%）となりました。損益面では、売上総利益は11,147百万円（前年同四半期比99.2%）となり、営業利益556百万円（前年同四半期比75.3%）、経常利益709百万円（前年同四半期比84.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益455百万円（前年同四半期比86.0%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、販売単価は上昇したものの取扱数量の減少により売上高99,252百万円（前年同四半期比99.4%）となり、間接経費全般の節減に努めましたが売上総利益率の低下によりセグメント利益356百万円（前年同四半期比50.1%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、一部魚種の相場下落等により販売単価は低下したものの販売数量の増加により売上高56,488百万円（前年同四半期比104.3%）となり、販売費の増加によりセグメント損失118百万円（前年同四半期はセグメント損失268百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、販売単価の上昇、販売数量の増加により売上高3,975百万円（前年同四半期比104.6%）、売上総利益率の改善によりセグメント利益256百万円（前年同四半期比109.2%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、販売数量の増加により売上高2,359百万円（前年同四半期比105.5%）となり、原材料価格の上昇などによりセグメント損失88百万円（前年同四半期はセグメント損失41百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の減少により売上高953百万円（前年同四半期比95.8%）、セグメント損失27百万円（前年同四半期はセグメント損失40百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高2,432百万円（前年同四半期比100.4%）、セグメント利益71百万円（前年同四半期比153.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて870百万円増加し、79,527百万円となりました。増加の主な要因は、たな卸資産の増加5,964百万円によるものであります。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少4,795百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて1,469百万円増加し、58,434百万円となりました。増加の主な要因は、借入金の増加4,247百万円によるものであります。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,744百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて598百万円減少し、21,093百万円（自己資本比率26.5%）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加122百万円によるものであります。減少の主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少732百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて58百万円増加し、2,793百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,788百万円の支出(前年同四半期は12百万円の収入)となりました。売上債権の減少4,846百万円(前年同四半期は823百万円の増加)がありましたが、たな卸資産の増加5,964百万円(前年同四半期は5,358百万円の増加)、仕入債務の減少1,970百万円(前年同四半期は5,043百万円の増加)が主な資金の減少要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは945百万円の支出(前年同四半期は310百万円の支出)となりました。有形固定資産の取得による支出728百万円(前年同四半期は268百万円の支出)が主な資金の減少要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3,792百万円の収入(前年同四半期は413百万円の支出)となりました。ファイナンス・リース債務の返済による支出122百万円(前年同四半期は147百万円の支出)、配当金の支払331百万円(前年同四半期は386百万円の支払)がありましたが、借入金の増加による純収入4,247百万円(前年同四半期は121百万円の純収入)が主な資金の増加要因となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,739	2,797
受取手形及び売掛金	32,836	28,040
商品及び製品	23,288	29,269
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	398	381
その他	491	791
貸倒引当金	△168	△105
流動資産合計	59,584	61,175
固定資産		
有形固定資産	11,026	11,069
無形固定資産	211	217
投資その他の資産		
投資有価証券	6,306	5,245
その他	1,902	2,141
貸倒引当金	△372	△321
投資その他の資産合計	7,835	7,065
固定資産合計	19,073	18,352
資産合計	78,657	79,527
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,635	19,891
短期借入金	17,080	21,714
1年内返済予定の長期借入金	4,693	4,546
未払法人税等	386	220
賞与引当金	729	698
その他	4,061	3,301
流動負債合計	48,587	50,372
固定負債		
長期借入金	4,962	4,723
退職給付に係る負債	2,373	2,403
役員退職慰労引当金	132	118
その他	908	816
固定負債合計	8,377	8,061
負債合計	56,965	58,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	7,508	7,630
自己株式	△25	△26
株主資本合計	20,069	20,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,034	1,302
繰延ヘッジ損益	4	5
土地再評価差額金	△356	△356
退職給付に係る調整累計額	△60	△47
その他の包括利益累計額合計	1,623	903
純資産合計	21,692	21,093
負債純資産合計	78,657	79,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	154,379	156,792
売上原価	143,136	145,644
売上総利益	11,242	11,147
販売費及び一般管理費	10,504	10,591
営業利益	738	556
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	84	81
補助金収入	33	41
その他	102	138
営業外収益合計	220	263
営業外費用		
支払利息	96	99
その他	27	10
営業外費用合計	123	109
経常利益	835	709
特別利益		
受取保険金	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
災害による損失	29	—
投資有価証券評価損	—	12
特別損失合計	29	12
税金等調整前四半期純利益	817	696
法人税、住民税及び事業税	193	165
法人税等調整額	94	75
法人税等合計	287	241
四半期純利益	529	455
親会社株主に帰属する四半期純利益	529	455

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	529	455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	351	△732
繰延ヘッジ損益	27	0
退職給付に係る調整額	11	12
その他の包括利益合計	389	△719
四半期包括利益	918	△264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	918	△264
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	817	696
減価償却費	428	447
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	△115
退職給付に係る資産又は負債の増減額	12	58
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△31
受取利息及び受取配当金	△85	△82
支払利息	96	99
売上債権の増減額(△は増加)	△823	4,846
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,358	△5,964
仕入債務の増減額(△は減少)	5,043	△1,970
その他	△245	△372
小計	△95	△2,387
利息及び配当金の受取額	85	82
利息の支払額	△96	△96
法人税等の支払額	△232	△388
法人税等の還付額	350	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	12	△2,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△268	△728
投資有価証券の取得による支出	△11	△10
その他	△30	△206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310	△945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	537	4,634
長期借入れによる収入	—	68
長期借入金の返済による支出	△416	△454
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△147	△122
配当金の支払額	△386	△331
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△413	3,792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△712	58
現金及び現金同等物の期首残高	2,891	2,734
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	11	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,190	2,793

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業 (注) 1	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	95,737	52,570	2,764	1,105	445	152,623	1,756	154,379	—	154,379
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,160	1,590	1,037	1,131	549	8,469	666	9,135	△9,135	—
計	99,897	54,160	3,801	2,237	995	161,092	2,422	163,515	△9,135	154,379
セグメント利益 又は損失(△)	712	△268	234	△41	△40	597	46	643	94	738

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。

また、第1四半期連結会計期間より、(株)松浦養殖は重要性が増したため、連結の範囲に含めており、「養殖事業」に含めて表示しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額94百万円には、セグメント間取引消去463百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△368百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	95,098	55,199	3,103	1,201	406	155,009	1,783	156,792	—	156,792
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,153	1,289	872	1,158	546	8,020	649	8,669	△8,669	—
計	99,252	56,488	3,975	2,359	953	163,029	2,432	165,462	△8,669	156,792
セグメント利益 又は損失(△)	356	△118	256	△88	△27	379	71	450	105	556

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額105百万円には、セグメント間取引消去455百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△350百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。